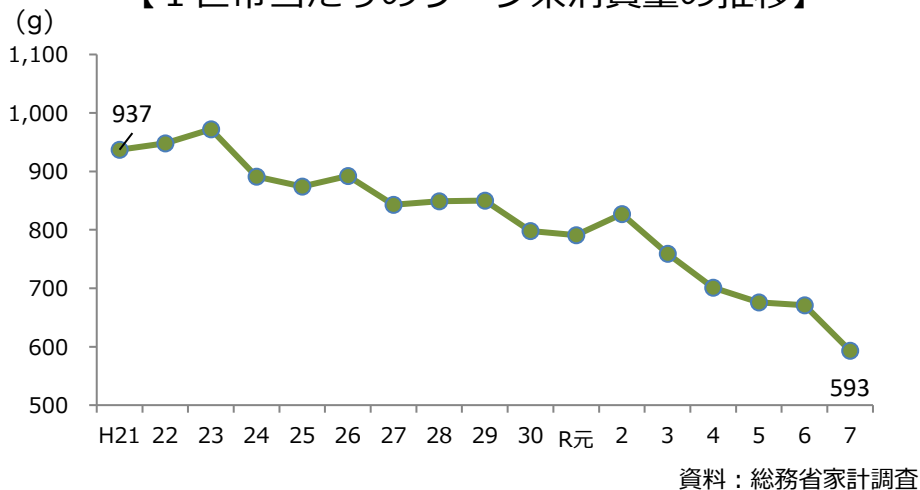


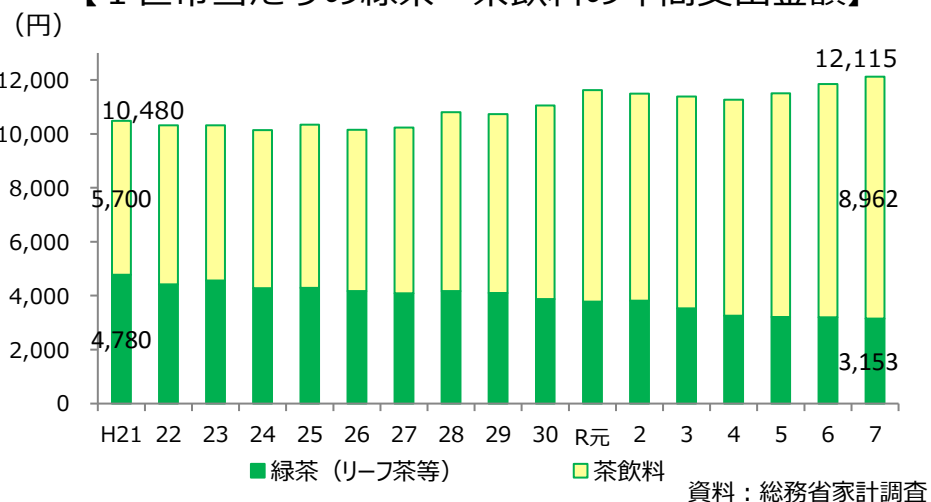
4. お茶の消費動向①

- 緑茶（リーフ茶）の消費量は減少傾向。
- 一方、簡便化志向等で緑茶飲料の消費量は増加傾向。
- 年齢別 1 世帯当たりの年間支出額は、年代が低いほど少なく年代が高いほど多い特徴。

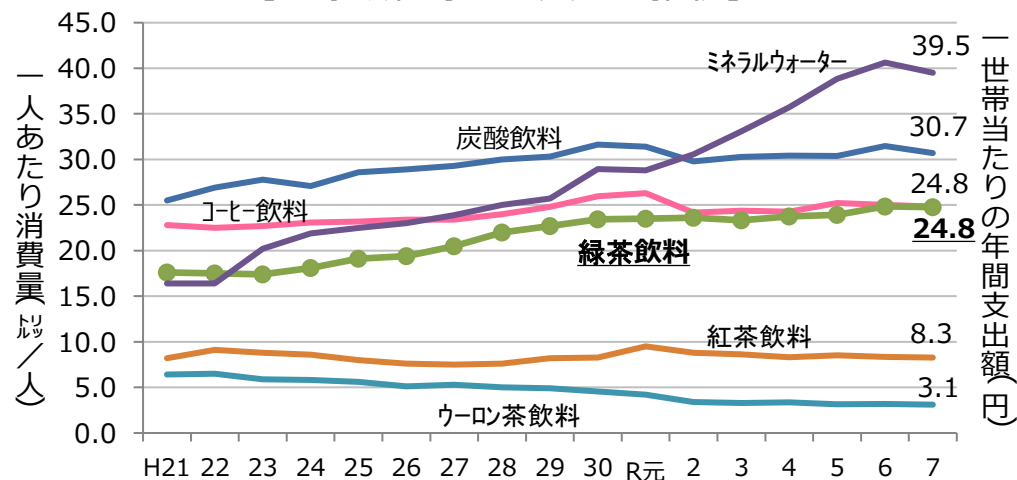
【1 世帯当たりのリーフ茶消費量の推移】



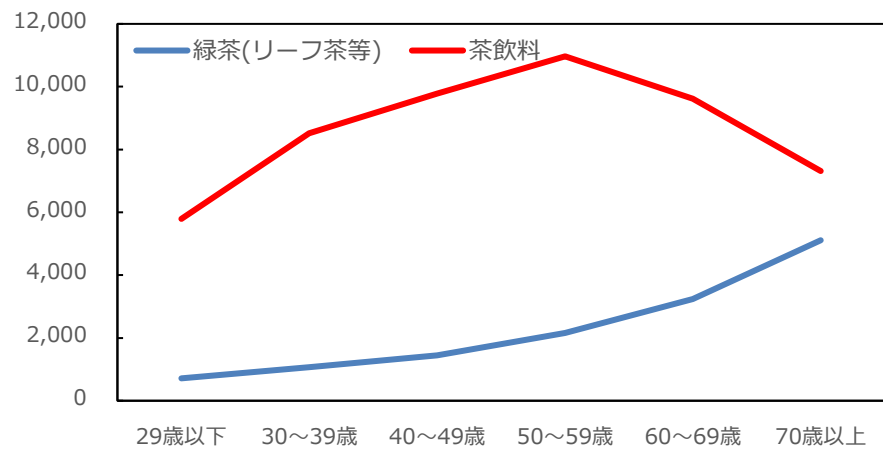
【1 世帯当たりの緑茶・茶飲料の年間支出金額】



【清涼飲料等の消費量の推移】



【年齢別の緑茶と茶飲料の消費動向（令和 7 年）】



5. お茶の消費動向②

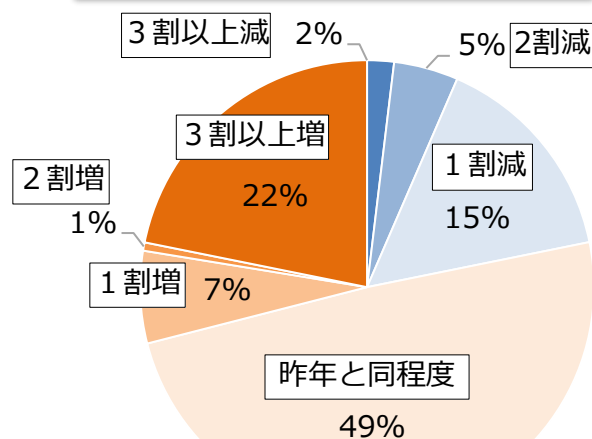
○茶の卸・小売事業者等に対し、R7年12月末時点の荒茶在庫量及びR8年産の荒茶仕入れ見込みについて調査を実施。

○R7年12月末時点の荒茶在庫量は、R6年末の在庫量が減少していたところ、R7年産茶（主に二番茶以降）の仕入れが積極的に行われたことにより、「昨年と同程度」及び「昨年よりも増加」が計8割と増加傾向。

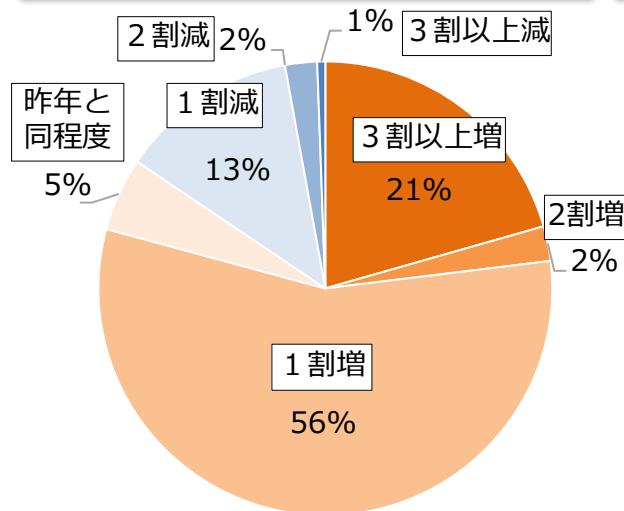
○R8年産一番茶の荒茶仕入れ見込量は、R7年産一番茶の生産量が減少し仕入れ量が限られたこと等から、「昨年よりも増加」が計8割と、高い仕入れ意向。

○R8年産一番茶以外（二番茶以降）の荒茶仕入れ見込量は、「昨年と同程度」及び「昨年よりも増加」が計8割と、引き続き高い仕入れ意向。

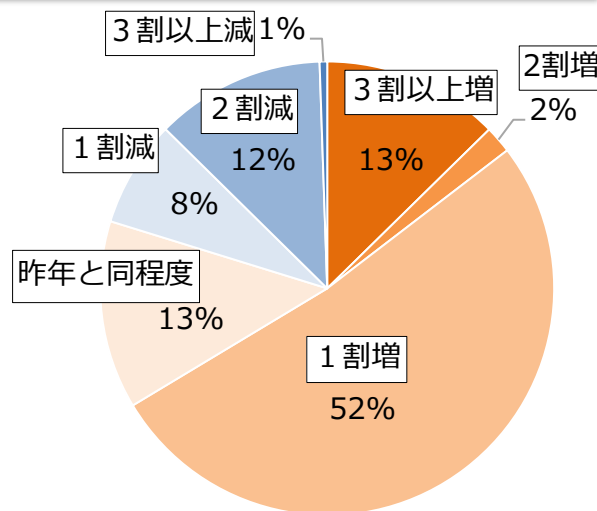
○令和7年12月末時点の荒茶在庫量
(令和6年12月末時点との比較)



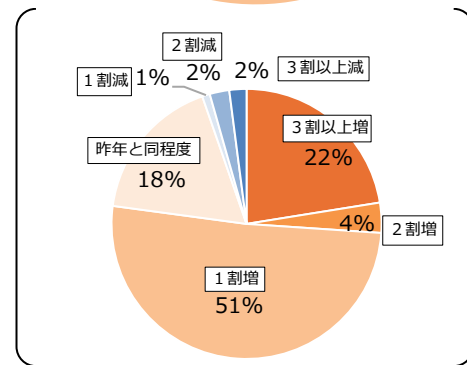
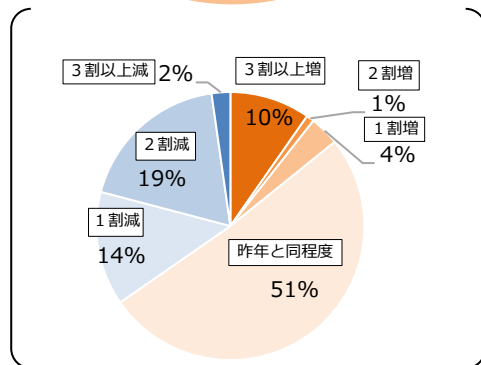
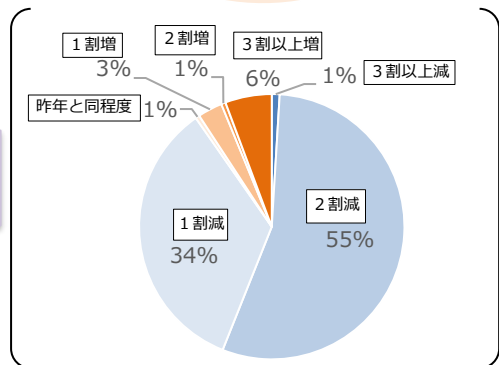
○令和8年産一番茶の荒茶仕入れ見込量
(令和7年産との比較)



○令和8年産一番茶以外の荒茶仕入れ見込量
(令和7年産との比較)



(参考)
令和6年末
調査結果

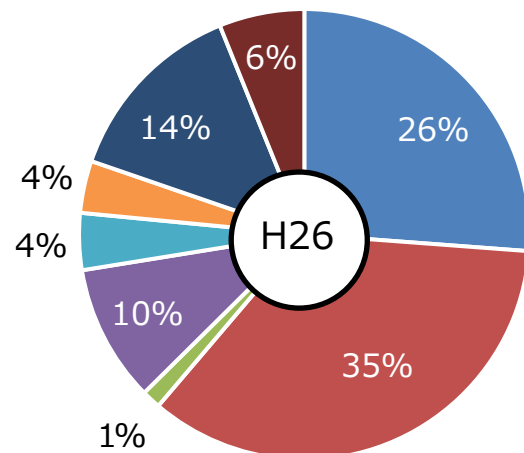
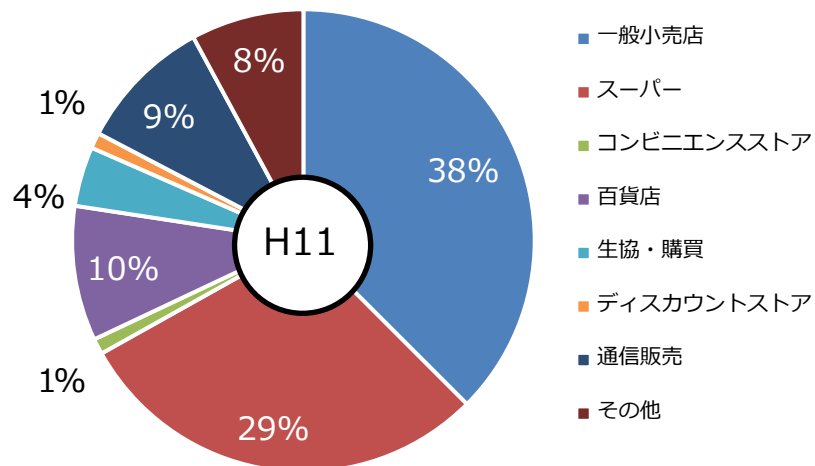


資料：農林水産省農産局果樹・茶グループ調べ。全国茶商工業協同組合連合会、全国茶生産団体連合会等を通じた事業者へのアンケート調査結果から、有効回答（在庫量：43件、仕入れ見込量：43件（一番茶）、44件（一番茶以外））を集計。※集計に当たっては、各事業者の在庫量又は仕入れ量により重みづけ。回答者の荒茶仕入量の合計は、R7年の荒茶生産量の約65%。

6. 消費市場の変化

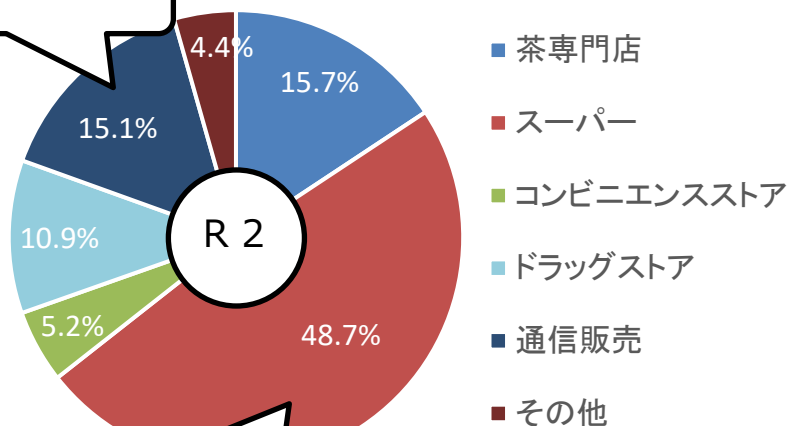
- 消費者による緑茶の購入は、平成11年では茶専門店を含む一般小売店からが最も多かったが、その後、**スーパーからの購入等が増加**。
- 通信販売の割合も増加しており、**購入元も販売店、茶商、生産者など多様化**している。

【緑茶の購入先の変化】



H11及びH26
資料：総務省「全国消費実態調査」

通信販売の利用が増加。



スーパーからの
購入が増加。

R2
資料：農林水産省「緑茶の飲用に関する意識・意向調査結果」より（一部改変）

7. お茶の消費拡大①

- **日本茶のプロモーション動画**を作成し、Instagram や Facebook 等のSNSで広告配信を実施。
- 農林水産省HPにおいて、お茶の様々な楽しみ方を紹介。

○プロモーション動画

国内の消費者（特に、若い世代）向けに、日本茶の魅力を短時間で分かりやすく伝える動画を作成し、広告配信を実施。

- ・ここから、あなたの一杯が始まる（約30秒）



--- 配信成果 ---

- ・令和8年5月20日～27日までの期間で、視聴回数は約10万回を記録。
- ・配信対象を20～49歳に絞ったことで、普段あまりお茶を飲まない若い世代に対して、お茶の魅力を広く効果的にPRすることができた。

動画はこちら



○農林水産省HP

- ・お茶大国、ニッポン。

農林水産省



料理とのペアリングや、飲み方・食べ方のアレンジなど、お茶のおいしさを最大限に引き出せる様々な楽しみ方を紹介。

詳細はこちら



Pair 07

玉露 ×
真鯛のカルパッチョ



Pair 08

和紅茶 ×
ローストビーフ



Pair 09

阿波番茶 ×
漬物

飲む以外にも、お料理にひと工夫することもできます。



ほうじ茶のお茶漬け

レシピを見る



日本茶しゃぶしゃぶ

レシピを見る



茶がらのおひたし

レシピを見る

アレンジ、いろいろ

8. お茶の消費拡大②

- 海外への留学を予定している大学生が日本茶を学び、留学先でその土地や学生の特技等と組み合わせ、日本茶の普及活動を行う**日本茶エバンジェリスト**。
- 令和8年度は新たに30名が加わり、これまでのエバンジェリストは総勢144名。

○日本茶エバンジェリストの取組

留学を予定している学生が日本茶について学び、茶器や茶葉を留学先へ持参し、現地で日本茶の魅力発信・普及活動を実施。あわせて現地の日本茶の販売状況やお茶文化に関する情報を収集。令和8年度からは、国内のお茶の消費拡大に向けて、国内版エバンジェリストの取組も開始。

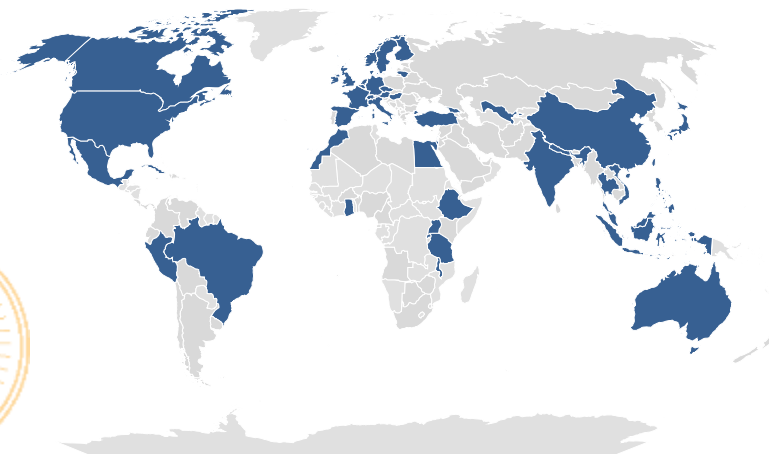
○取組状況

(留学生らのコメント)

- ・ももとは日本茶に詳しくなかったが、エバンジェリストの活動を通じてその魅力や面白さを知った。
- ・ホームパーティーや校内イベント等で日本茶を振る舞ったことをきっかけに、ルームメイトや現地の人々との交流が深まった。
- ・これからも日本茶の普及に取り組んでいきたい。



○取組実績



資料：国際日本茶協会提供資料を基に農林水産省作成
※取組実施済みの国：青
※未実施の国：グレー



※留学前に茶産地を巡り日本茶について学ぶ様子



※留学先で日本茶を振る舞う様子



※活動報告会の様子

9. お茶の消費拡大③（茶の機能性のPR）

- 茶に含まれるメチル化カテキンやエピガロカテキン等の機能性成分を解明するとともに、機能性をPRした消費拡大の取組を推進。

べにふうき （メチル化カテキン）

- 花粉、ハウスダストやほこりなどによる目や鼻の不快感を軽減させることが報告されている「メチル化カテキン」を含む。



水出し緑茶 （エピガロカテキン）

- 水出し緑茶は、お湯で淹れた緑茶に比べ、「エピガロカテキン（EGC）」の割合が高く、免疫機能の維持に期待。（R3年度よりヒト介入試験を実施）



サンルージュ （アントシアニン）

- 眼精疲労軽減効果が期待される「アントシアニン」含量が高い。



茶の機能性を消費者に P R する動きが活発化

機能性をPRした茶の消費拡大の取組



【茶業団体】
機能性をPRしたパンフレット



【農林水産省】



農水省HPでの
情報発信



健康機能性
ウェブセミナー



機能性表示食品の例

※カテキンを機能性関与成分として
機能性表示食品の届出が行われた茶
（販売中のもの）：64件
（令和8年9月29日時点）